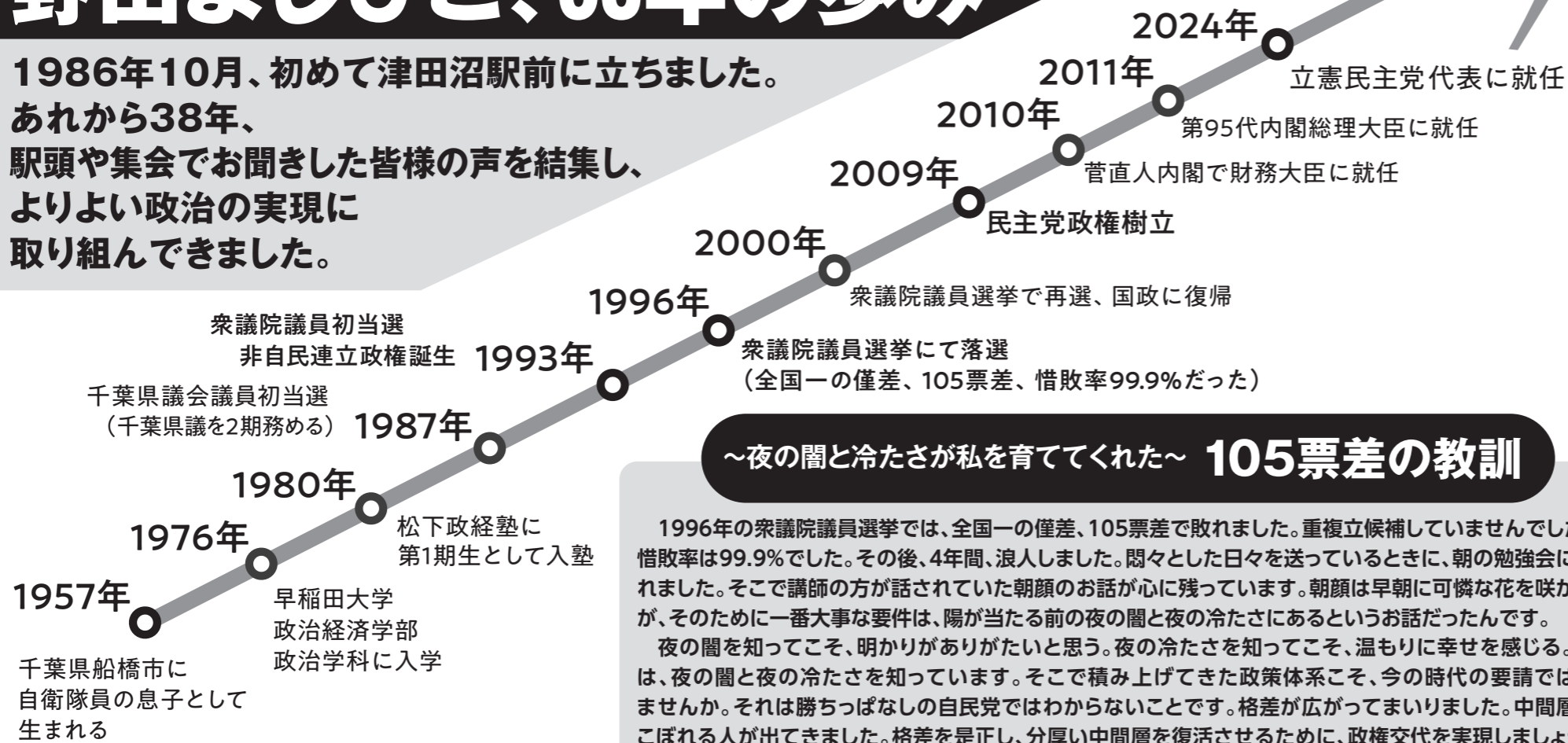


着実に積み重ねた信頼の軌跡

野田よしひこ、38年の歩み

1986年10月、初めて津田沼駅前に立ちました。

あれから38年、
駅頭や集会でお聞きした皆様の声を結集し、
よりよい政治の実現に
取り組んできました。



～夜の闇と冷たさが私を育ててくれた～ 105票差の教訓

1996年の衆議院議員選挙では、全国一の僅差、105票差で敗れました。重複立候補していませんでしたが、惜敗率は99.9%でした。その後、4年間、浪人しました。悶々とした日々を送っているときに、朝の勉強会に誘われました。そこで講師の方が話されていた朝顔のお話が心に残っています。朝顔は早朝に可憐な花を咲かせるが、そのために一番大事な要件は、陽が当たる前の夜の闇と夜の冷たさにあるというお話だったんです。

夜の闇を知ってこそ、明かりがありがたいと思う。夜の冷たさを知ってこそ、温もりに幸せを感じる。我々は、夜の闇と夜の冷たさを知っています。そこで積み上げてきた政策体系こそ、今の時代の要請ではありませんか。それは勝ちつばなしの自民党ではわからないことです。格差が広がってまいりました。中間層からこぼれる人が出てきました。格差を是正し、分厚い中間層を復活させるために、政権交代を実現しましょう。



野^の田^だよしひこ

立憲民主党公認

政権交代こそ、最大の政治改革。